

# 子供と自然をつなぐ地域プラットフォーム形成支援事業 (地域の自然環境や教育資源を活用した事業)

2016 はちまんっ子いきいき体験活動

近江八幡市

## 【事業のポイント】

- 市内の地域資源を活かした事業を実施する。
- 地元企業に事業の企画・運営に協力いただく。
- 青少年が事業への参画を通じて地域の子どもと交流する。



沖島での体験活動(地曳網)

## 1. 企画

### (1) 事業実施の背景

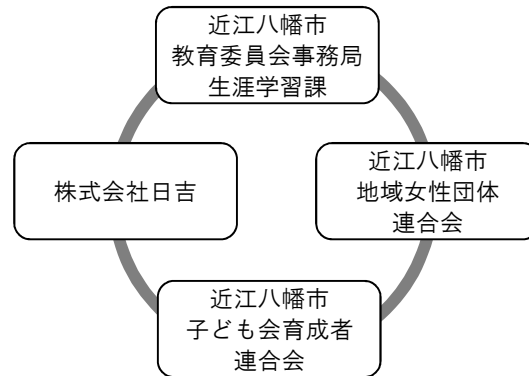
- ・近江八幡市は琵琶湖最大の島かつ日本唯一の淡水湖の有人島である沖島を有しており、地域の貴重な財産を活かした体験活動の実施について検討がなされてきた。
- ・市子ども会育成者連合会では、市内の企業を講師に迎えた環境学習を例年開催しており、より地域に密着したプログラム実施等、内容の充実について模索がなされていた。

### (2) ねらい

- ・地域の豊かな自然の中での体験活動を通じて、自主性・自発性・チャレンジ精神・社会性などを育てることにより子どもの持つ力を引き出す。
- ・青少年が事業に参画することで、地域活動に関心を持つ意識を育む。

## 2. 実施概要

### (1) 地域プラットフォームの構成



## (2) 具体的な取組の概要

はちまんっ子いきいき体験活動in沖島

実施日:平成28年8月6日(土)

実施場所:沖島漁業会館他(近江八幡市沖島町)



通船に乗って沖島へ

プログラム:

・環境研修会「音のふしぎ発見！」



音の仕組みについての講習



班に分かれて音の小ささを競う



・講習「正しい手洗い方法」



食事前に正しい手の洗い方について学ぶ

・昼食休憩(沖島漁協婦人部によるお弁当)



沖島産の食材を使ったお弁当

・地引網体験



昔ながらの漁法を体験

(3)実績スケジュール		
月	日	内 容
	5月30日	第1回実行委員会
	7月20日	第2回実行委員会
	7月23日	事前研修会
	8月6日	はちまんっ子いきいき体験活動in沖島
	11月15日	第3回実行委員会

### 3. 成果と課題

#### (1) 成果

- ・市内の地域資源を活かしたプログラムを実施し、参加者へ地域の自然に触れてもらう機会を提供できた。
- ・市内の企業に事業の運営へ協力いただくことで、企業は地域貢献の場となり、参加者には地元企業の活動を知ってもらうことができた。
- ・講習の企画・運営は企業の新規採用社員に中心となって進めていただき、勤労青年の自主性や地域活動への参画意識の醸成につながった。
- ・参加者(子ども)・指導者(若年者)・引率者(子育て世代)と世代の異なる者が参加し、普段接する機会の少ない世代と関わることで、各参加者に好影響を与えられた。

#### (2) 課題

- ・環境学習のテーマ及び体験活動の内容について、講師以外の関係者も企画を考え、プログラムの充実を図りたい。
- ・市内小学校及び市内子ども会を通じて参加募集案内を行ったが、小学校経由での参加申し込みが非常に少なかった。より効果的な周知方法の検討が必要である。

### 4. 地域プラットフォームの展望(今後の方向性・取組等)

- ・市内企業の新入社員を講師に招いた子ども会対象の研修は、市子ども会育成者連合会が主体となり次年度以降も継続する。会場は地域資源活用の面から沖島での開催が望ましいが、通船の利用など金銭面での負担が大きいため、子どもゆめ基金の助成も検討したい。
- ・市内の高校や近隣の大学へ学生スタッフの募集を依頼し、体験活動事業における実施体制の拡充を図りたい。

### 5. 団体プロフィール

近江八幡市  
(教育委員会事務局生涯学習課)  
〒523-8501 滋賀県近江八幡市桜宮町236  
TEL:0748-36-5533  
FAX:0748-36-5565